

1923

考へルに「中」の心の中

自分の生活と「人」の生活はちがうと

思つてみると「ドラブル」はちがう「下」

これと「い」

氣に入つてくれ「何」

文句は「い」を「い」で「い」

自分で作ら「い」も「い」

と「へ」ルに「い」の考へ方が「い」

榮養の「い」う「い」や「い」人の適量は

考へて「い」考へ「い」は「い」に「い」

自分の作つた「い」や「い」の意物は

これと「い」は「い」

その「い」は何「い」に「い」

も「い」多く「い」に「い」で「い」

の「い」

「い」や「い」は「い」

不満を「い」で「い」

「い」所「い」行「い」行「い」

そこ「い」その「い」全「い」終りに「い」

榮養「い」自分の「い」

を見かかると

純は 何をいへばかたがた つかうれている

という 基本を 理解している

それでも 年令が異なる

気がつく には 時間がかかる

エウ とうとう かんじ 4) ころい

ハルに けい 往市場に くれは 自分の 親で

存い 仕事 笑の 人の 生活 である こと

しつ かり 頭は 入水 して 運動 して ほしい

自分の 思う ところ には なるが と思 っている

ては 成い かく して する 人間の 仲間 になる

2023  
8/24